

パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	小値賀町松林保全計画
実施担当部署	産業振興課 農林係
意見等の募集期間	令和2年1月6日～令和2年2月5日
意見等の受付件数	4件(4人) (郵送:0件、FAX:0件、メール:3件、持参:1件)

1. いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の個所	提出いただいたご意見等の概要	町の対応と考え方
1	4.短期的方針、 5.短期的方針に基づく事業計画 (1) 防除事業	我が家はニホンミツバチを飼育し、昨年より小値賀産ニホンミツバチのハチミツとしてハチミツを販売しております。スミパインMCの空中散布を令和2年度以降も継続する、と計画案に明記されていますが、スミパインMCの販売会社である理研グリーン社のスミパインMC商品ページにも「ミツバチに対して影響がありますので巣箱及びその周辺に対して飛散する場合は使用しないでください」「また養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチへの危害防止につとめてください」と明記されています。毎年小値賀町の産業振興課へ養蜂の届けを出していますが、養蜂している地区(ニホンミツバチの飛距離は周辺半径2キロです)を確認して頂き、その範囲への散布をしないで頂きたいと思えます。 また、昨年は磯の時期に散布があったと思いますが、雨が降るとすぐに海に流れ込むので、島民の健康被害と海中の環境への影響を考えるとこの時期に空中散布するのも適切ではないと思えます。	募集期間終了後、面談して協議。以下のとおり町の考え方等を説明し、一部計画に追記することで、計画内容には了承いただきました。  スミパインMCがミツバチに対し影響を及ぼす可能性が高い薬剤であることは、ご指摘のとおりであり、町としても理解している中で、ここ数年ミツバチの飼養者のご理解を得て薬剤散布を実施しています。一部地域については、散布の対象外区域とする対応も取っており、今後も同様のやり方での対応をお願いしたい。 町としても薬剤に頼らない防除は望むところであり、防除研究の情報収集に努めて、研究が進展し、環境にやさしい防除方法等が確立した際には、導入に対し、前向きに検討していきたいと考えています。しかしながら、現状は今の方法でしか防護する方法がなく、費用等の様々な面から考慮しても、最善の方法であると考えています。

2. いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	修正した個所	変更前	変更後
1	7.その他	本計画の ~省略~ 対応する。 なお、 ~以下略~ 毎年度開催する。	本計画の ~省略~ 対応する。また、今後も防除技術等の研究の情報収集に努め、効果的で環境等に配慮した技術が進展した場合等についても、その都度関係機関と協議し、積極的に導入を検討する。 なお、 ~以下略~ 毎年度開催する。

パブリックコメント手続きに関する問い合わせ先

産業振興課 農林係 山元 TEL:0959-56-3111 FAX:0959-56-4185 E-mail:yamamoto-shinobu@town.ojika.lg.jp
--

パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	小値賀町松林保全計画
実施担当部署	産業振興課 農林係
意見等の募集期間	令和2年1月6日～令和2年2月5日
意見等の受付件数	4件（4人）（郵送：0件、FAX：0件、メール：3件、持参：1件）

1. いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の個所	提出いただいたご意見等の概要	町の対応と考え方
2	4.短期的方針、 5.短期的方針に基づく事業計画 (1) 防除事業	<p>簡単に言うと、薬剤散布をやめて欲しいです。最初小値賀に来た2008年からずっと思ったことです。自然豊かとか言ってるのに、毎年ヘリコプターが島に来て、大量の薬剤が空から散布される。そして、当時、地上散布の時、島の若者たちが薬剤を浴びながら数日間かけて島を回ってました。今やっと地上散布が無人ヘリになったけど、それだけで安心出来ません。</p> <p>現在、松枯れが広い範囲に進んでおり、手遅れの状態になってます。</p> <p>明らかに散布の対策が失敗しました。今のうちに自然の健康、小値賀町民の健康を考えなおして、散布をやめてください。この小値賀島が本当に自然豊かな島になる為に、自然に合ってる行動に移るべきです。ご検討をよろしくお願いします。</p>	<p>募集期間終了後、面談して協議。以下のとおり町の考え方等を説明し、一部計画に追記することで、計画内容には了承いただきました。（3の提出者と同時に面談）</p> <p>薬剤散布が環境に対し少なからず影響を及ぼしていることは、ご指摘のとおりであり、町としても理解しています。しかしながら外海離島である町において、松は防風防潮林として町民の生活を守る重要な役割を担っているため、防除事業については、継続して実施する必要があります。町としても薬剤に頼らない防除は望むところであり、防除研究の情報収集に努めて、研究が進展し、環境にやさしい防除方法等が確立した際には、導入に対し、前向きに検討していきたいと考えています。しかしながら、現状は今の方法でしか防除する方法がなく、費用等の様々な面から考慮しても、最善の方法であると考えています。</p>

2. いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	修正した個所	変更前	変更後
2	7.その他	<p>本計画の ～省略～ 対応する。</p> <p>なお、 ～以下略～ 毎年度開催する。</p>	<p>本計画の ～省略～ 対応する。また、今後も防除技術等の研究の情報収集に努め、効果的で環境等に配慮した技術が進展した場合等についても、その都度関係機関と協議し、積極的に導入を検討する。</p> <p>なお、～以下略～ 毎年度開催する。</p>

パブリックコメント手続きに関する問い合わせ先

産業振興課 農林係 山元 TEL：0959-56-3111 FAX：0959-56-4185
E-mail：yamamoto-shinobu@town.ojika.lg.jp

パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	小値賀町松林保全計画
実施担当部署	産業振興課 農林係
意見等の募集期間	令和2年1月6日～令和2年2月5日
意見等の受付件数	4件（4人）（郵送：0件、FAX：0件、メール：3件、持参：1件）

1. いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の個所	提出いただいたご意見等の概要	町の対応と考え方
3	4.短期的方針、 5.短期的方針に基づく事業計画 (1) 防除事業	<p>松林の保全計画には、空中散布は今年も、そしてこれからも毎年続けていく予定とあります。これはぜひ見直していただきたいです。松枯れは町にとって、そして特に代々農業を営んできた皆さんには大問題です。けれど数年前から拡大している松枯れは、その激しさを見るともう空中散布の効果はないように思います。逆にその生態系への被害は甚大なのではないでしょうか。お年寄りに話を聞くと、鳥の種類も数も昔に比べ激減しているようです。長い時間をかけて起こることなので、因果関係を認めるのは物理的にも政治的にも難しいかもしれません。ただ殺虫目的である以上、多くの生物が犠牲になっているのは事実です。長年の散布が影響していないわけがありません。海とそこに住む生物への影響も指摘されています。また有機リン系の殺虫剤は、人体への害も小さくありません。いかに風の弱い日を選んで、空中から散布される薬剤は島全体に、そして周りの海に広がります。</p> <p>こういった被害を主張しても、視点が違う限り議論は平行線かもしれません。一步下がって観念的なところでもお願いしたいと思います。小値賀の宝は自然と文化と人です。その中に、「殺す」ことを目的とした不自然な薬剤は入る余地がないのではないのでしょうか。計画の中には植林などの健康的な案もあるようです。せっかくだから、薬剤の空中散布を選択肢に入れずに将来計画全体が健康であればいいなと思います。ありがとうございました。</p>	<p>募集期間終了後、面談して協議。以下のとおり町の考え方等を説明し、一部計画に追記することで、計画内容には了承いただきました。（3の提出者と同時に面談）</p> <p>薬剤散布が環境に対し少なからず影響を及ぼしていることは、ご指摘のとおりであり、町としても理解しています。しかしながら外海離島である町において、松は防風防潮林として町民の生活を守る重要な役割を担っているため、防除事業については、継続して実施する必要があります。町としても薬剤に頼らない防除は望むところであり、防除研究の情報収集に努めて、研究が進展し、環境にやさしい防除方法等が確立した際には、導入に対し、前向きに検討していきたいと考えています。しかしながら、現状は今の方法でしか防除する方法がなく、費用等の様々な面から考慮しても、最善の方法であると考えています。</p>

2. いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	修正した個所	変更前	変更後
3	7.その他	<p>本計画の ～省略～ 対応する。 なお、 ～以下略～ 毎年度開催する。</p>	<p>本計画の ～省略～ 対応する。また、今後も防除技術等の研究の情報収集に努め、効果的で環境等に配慮した技術が進展した場合等についても、その都度関係機関と協議し、積極的に導入を検討する。 なお、～以下略～ 毎年度開催する。</p>

パブリックコメント手続きに関する問い合わせ先

産業振興課 農林係 山元 TEL：0959-56-3111 FAX：0959-56-4185 E-mail：yamamoto-shinobu@town.ojika.lg.jp
--

パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	小値賀町松林保全計画
実施担当部署	産業振興課 農林係
意見等の募集期間	令和2年1月6日～令和2年2月5日
意見等の受付件数	4件（4人）（郵送：0件、FAX：0件、メール：3件、持参：1件）

1. いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の個所	提出いただいたご意見等の概要	町の対応と考え方
4	全体	<p>提案書の形でいただいたため、以下のとおり概要を記載いたします。提案書全文は別添のとおりで。</p> <p>提案①肺結核ストレプトマイシンのような特効薬剤（抗生物質）の開発 →現在使用されている薬剤の効果が十分でないように思われる。特効薬剤の研究開発を検討してほしい。町として国に対し要望しても良いのではないか。</p> <p>提案②枯れ材の有効利用の方向（方針） →枯れ材を燃料として、お湯を沸かして、町民の憩いの場とする施設の整備、建築や土木用構造材としての活用等、有効利用を検討してほしい。</p> <p>提案③松林保全のためのクロマツの植林 →抵抗性クロマツの樹種の植林を検討してほしい。</p>	<p>募集期間終了後、面談して協議。以下のとおり、松くい虫被害対策に係る研究の現状等を説明し、計画内容について了承いただきました。</p> <p>①町で把握している範囲の中で、現在までの国による長年の研究や、民間で行われている研究により、現状は、今実施している薬剤散布、伐倒駆除、樹幹注入による保全の方法しがなく、町としても特効薬剤が開発されることを望んでいます。</p> <p>②材の有効利用については、県や民間事業者からも様々な提案を頂き検討してきたものの、財源の問題から、国県の補助事業を活用しなければ処理が難しいため、活用する事業の要件や虫の孵化の時期等の条件を考慮すると、現状では松くい虫による枯れ松の有効利用を行うことが出来ません。しかしながら、今後進めていく松林の整理の中で出てくる健全な松材については、引き続き有効利用を検討していきます。</p> <p>③守るべき松林については、抵抗性クロマツと一緒に他の樹種を植栽することで、今回のような被害が起こった時に、一定の防風効果を保つことが出来るように考えています。</p>

2. いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	修正した個所	変更前	変更後
1		変更なし	

パブリックコメント手続きに関する問い合わせ先

産業振興課 農林係 山元 TEL：0959-56-3111 FAX：0959-56-4185 E-mail：yamamoto-shinobu@town.ojika.lg.jp
--